

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I L ペンションズ・マネジメントに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	ベビーファンド メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マザーファンド メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 マザーファンド 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）



第27期（決算日：2015年12月4日）
第28期（決算日：2016年1月4日）
第29期（決算日：2016年2月4日）
第30期（決算日：2016年3月4日）
第31期（決算日：2016年4月4日）
第32期（決算日：2016年5月6日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」は、去る5月6日に第32期の決算を行いましたので、法令に基づいて第27期～第32期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

三菱UFJ メキシコ債券オープンく為替ヘッジなし> (毎月決算型)のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

マザーファンドのご報告

◇メキシコ債券マザーファンド	14
----------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	期 騰 落			
	円	円	円	中 率 %	%	%	百万円
3期(2013年12月4日)	10,302	30	30	1.3	93.5	—	1,249
4期(2014年1月6日)	10,552	30	30	2.7	94.1	—	1,244
5期(2014年2月4日)	9,835	30	30	△6.5	93.3	—	1,288
6期(2014年3月4日)	10,174	30	30	3.8	93.9	—	1,374
7期(2014年4月4日)	10,587	30	30	4.4	94.9	—	1,444
8期(2014年5月7日)	10,569	30	30	0.1	95.4	—	1,475
9期(2014年6月4日)	10,816	30	30	2.6	93.7	—	1,369
10期(2014年7月4日)	10,903	30	30	1.1	92.2	—	1,387
11期(2014年8月4日)	10,746	30	30	△1.2	93.6	—	1,330
12期(2014年9月4日)	11,097	30	30	3.5	92.4	—	1,361
13期(2014年10月6日)	11,160	30	30	0.8	90.0	—	1,393
14期(2014年11月4日)	11,406	60	60	2.7	92.9	—	1,338
15期(2014年12月4日)	11,594	60	60	2.2	90.4	—	1,483
16期(2015年1月5日)	11,088	60	60	△3.8	87.1	—	1,978
17期(2015年2月4日)	11,251	60	60	2.0	91.9	—	2,040
18期(2015年3月4日)	10,878	60	60	△2.8	91.3	—	2,065
19期(2015年4月6日)	10,939	60	60	1.1	92.5	—	2,271
20期(2015年5月7日)	10,406	60	60	△4.3	92.9	—	1,781
21期(2015年6月4日)	10,687	60	60	3.3	91.8	—	1,788
22期(2015年7月6日)	10,376	60	60	△2.3	94.2	—	1,666
23期(2015年8月4日)	10,289	60	60	△0.3	95.3	—	1,639
24期(2015年9月4日)	9,481	60	60	△7.3	94.5	—	1,408
25期(2015年10月5日)	9,553	60	60	1.4	89.2	—	1,345
26期(2015年11月4日)	9,785	60	60	3.1	90.3	—	1,317
27期(2015年12月4日)	9,619	60	60	△1.1	91.6	—	1,162
28期(2016年1月4日)	9,120	60	60	△4.6	89.9	—	1,088
29期(2016年2月4日)	8,546	60	60	△5.6	91.2	—	1,009
30期(2016年3月4日)	8,213	60	60	△3.2	91.8	—	954
31期(2016年4月4日)	8,399	60	60	3.0	92.2	—	955
32期(2016年5月6日)	7,852	60	60	△5.8	91.6	—	827

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第27期	(期 首) 2015年11月4日	円 9,785		% —	% 90.3		% —
	11月末	9,769		△0.2	93.4		—
	(期 末) 2015年12月4日	9,679		△1.1	91.6		—
第28期	(期 首) 2015年12月4日	9,619		—	91.6		—
	12月末	9,185		△4.5	89.3		—
	(期 末) 2016年1月4日	9,180		△4.6	89.9		—
第29期	(期 首) 2016年1月4日	9,120		—	89.9		—
	1月末	8,688		△4.7	90.2		—
	(期 末) 2016年2月4日	8,606		△5.6	91.2		—
第30期	(期 首) 2016年2月4日	8,546		—	91.2		—
	2月末	8,149		△4.6	90.9		—
	(期 末) 2016年3月4日	8,273		△3.2	91.8		—
第31期	(期 首) 2016年3月4日	8,213		—	91.8		—
	3月末	8,584		4.5	91.4		—
	(期 末) 2016年4月4日	8,459		3.0	92.2		—
第32期	(期 首) 2016年4月4日	8,399		—	92.2		—
	4月末	8,366		△0.4	88.0		—
	(期 末) 2016年5月6日	7,912		△5.8	91.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第27期～第32期：2015/11/5～2016/5/6)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ16.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

メキシコペソが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第27期～第32期：2015/11/5～2016/5/6)

金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)

◎債券市況

- ・当作成期首から2015年12月中旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国で利上げ観測が高まったこと（米国は12月中旬に政策金利の引き上げを実施）などが影響し、メキシコ金利は上昇（債券価格は下落）しました。
- ・12月中旬から2016年2月中旬にかけては、原油価格や世界株式市況が下落したことなどを背景に米国の追加利上げ観測が後退したことなどが影響し、メキシコ金利は低下しました。その後も当作成期末にかけてメキシコ金利は低下基調を辿りました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコ金利は中長期ゾーンを中心に低下しました。

◎為替市況

- ・主に2015年12月中旬から2016年2月中旬にかけて原油価格や世界株式市況が下落したことなどを背景にリスク回避の動きが強まり、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) >

- ・当ファンドは、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ債券を高位に組み入れた運用を行いました。

<メキシコ債券マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ16.0%の下落となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えメキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。組入銘柄では、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味が小さくなったとの判断から、スペイン語圏で事業展開を行っている大手メディア関連企業の社債を全て売却しました。

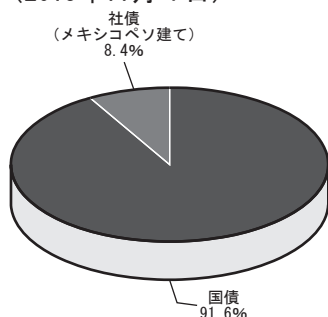
◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、保有しているメキシコ国債が上昇したことなどはプラスに寄与したものの、メキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

(ご参考)

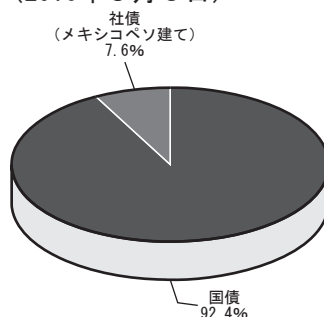
種別別組入比率

作成期首 (2015年11月4日)



(注) 比率は現物債券評価額に対する割合です。

作成期末 (2016年5月6日)



(注) 比率は現物債券評価額に対する割合です。

(ご参考)

利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

作成期首 (現地2015年11月3日)

最終利回り	5.8%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	5.8%
直接利回り	6.2%
デュレーション	5.9年

- ・データはF I Lベンションズ・マネジメントより提供された運用ポートフォリオベースのものであります。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアム/コストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

作成期末 (現地2016年5月5日)

最終利回り	5.7%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	5.8%
直接利回り	6.3%
デュレーション	5.9年

- ・データはF I Lベンションズ・マネジメントより提供された運用ポートフォリオベースのものであります。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアム/コストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

債券の格付分布

作成期首 (2015年11月4日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	90.1%	10
BBB格	1.6%	1
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

作成期末 (2016年5月6日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	86.0%	9
BBB格	7.1%	1
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期
	2015年11月5日～ 2015年12月4日	2015年12月5日～ 2016年1月4日	2016年1月5日～ 2016年2月4日	2016年2月5日～ 2016年3月4日	2016年3月5日～ 2016年4月4日	2016年4月5日～ 2016年5月6日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	0.620%	0.654%	0.697%	0.725%	0.709%	0.758%
当期の収益	36	37	31	27	43	33
当期の収益以外	23	22	29	32	16	26
翌期繰越分配対象額	1,380	1,359	1,330	1,298	1,281	1,255

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）〉

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

◎運用環境の見通し

- ・メキシコ政府が歳出削減などを通じて財政再建を積極的に進めていること、メキシコ中央銀行がインフレや自国通貨の安定化に配慮した政策運営を進めていることなどは、メキシコ債券および為替市場にとってポジティブな材料であると見えています。一方で、経済的な影響度の強い米国の金融政策の動向には引き続き注意が必要だと考えます。
- ・為替市況については、メキシコ政府がエネルギー分野などでの構造改革や財政健全化策を継続していることに加え、メキシコ中央銀行が利上げや為替介入などを通じて自国通貨を安定させる姿勢を示していることなどがメキシコペソの下支え材料になると考えます。

◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月5日～2016年5月6日)

項 目	第27期～第32期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(43)	(0.486)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.047	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	82	0.935	
作成期中の平均基準価額は、8,790円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月5日～2016年5月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第27期～第32期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 5,953	千円 6,000	千口 297,464	千円 315,400

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月5日～2016年5月6日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) >

該当事項はございません。

<メキシコ債券マザーファンド>

区分	第27期～第32期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 4	百万円 —	% —	百万円 403	百万円 29	% 7.2

平均保有割合 83.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年5月6日現在)

親投資信託残高

銘柄	第26期末	第32期末	
	口数	口数	評価額
メキシコ債券マザーファンド	千口 1, 148, 301	千口 856, 790	千円 814, 122

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年5月6日現在)

項目	第32期末	
	評価額	比率
メキシコ債券マザーファンド	千円 814, 122	% 93.0
コール・ローン等、その他	61, 524	7.0
投資信託財産総額	875, 646	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (966, 473千円) の投資信託財産総額 (972, 135千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.39円	1 メキシコペソ=6.00円	
------------------	----------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第27期末	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末
	2015年12月4日現在	2016年1月4日現在	2016年2月4日現在	2016年3月4日現在	2016年4月4日現在	2016年5月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,248,447,307	1,097,112,139	1,017,765,318	963,427,183	966,281,542	875,646,914
コール・ローン等	31,508,080	33,094,837	24,068,681	22,005,147	28,952,895	61,524,446
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	1,138,139,177	1,064,017,253	988,696,603	941,422,036	937,328,647	814,122,468
未収入金	78,800,000	—	5,000,000	—	—	—
未収利息	50	49	34	—	—	—
(B) 負債	86,345,900	8,833,091	8,621,150	8,710,595	10,436,911	47,744,292
未払収益分配金	7,248,618	7,159,810	7,084,718	6,974,856	6,827,894	6,326,164
未払解約金	77,248,262	—	—	395,474	2,165,596	40,000,000
未払信託報酬	1,844,289	1,669,002	1,532,507	1,336,841	1,439,732	1,414,371
未払利息	—	—	—	—	—	119
その他未払費用	4,731	4,279	3,925	3,424	3,689	3,638
(C) 純資産総額(A-B)	1,162,101,407	1,088,279,048	1,009,144,168	954,716,588	955,844,631	827,902,622
元本	1,208,103,030	1,193,301,771	1,180,786,458	1,162,476,018	1,137,982,383	1,054,360,687
次期繰越損益金	△ 46,001,623	△ 105,022,723	△ 171,642,290	△ 207,759,430	△ 182,137,752	△ 226,458,065
(D) 受益権総口数	1,208,103,030口	1,193,301,771口	1,180,786,458口	1,162,476,018口	1,137,982,383口	1,054,360,687口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,619円	9,120円	8,546円	8,213円	8,399円	7,852円

○損益の状況

項 目	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期
	2015年11月5日～ 2015年12月4日	2015年12月5日～ 2016年1月4日	2016年1月5日～ 2016年2月4日	2016年2月5日～ 2016年3月4日	2016年3月5日～ 2016年4月4日	2016年4月5日～ 2016年5月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,238	1,328	1,186	413	—	△ 730
受取利息	1,238	1,328	1,186	413	—	—
支払利息	—	—	—	—	—	△ 730
(B) 有価証券売買損益	△ 10,890,396	△ 50,381,715	△ 58,619,343	△ 30,442,784	29,415,325	△ 49,957,767
売買益	1,082,014	918,185	1,189,017	895,896	29,706,395	1,153,785
売買損	△ 11,972,410	△ 51,299,900	△ 59,808,360	△ 31,338,680	△ 291,070	△ 51,111,552
(C) 信託報酬等	△ 1,849,020	△ 1,673,281	△ 1,536,432	△ 1,340,265	△ 1,443,421	△ 1,418,009
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,738,178	△ 52,053,668	△ 60,154,589	△ 31,782,636	27,971,904	△ 51,376,506
(E) 前期繰越損益金	△ 128,478,251	△ 144,877,173	△ 199,671,849	△ 262,216,745	△ 293,186,130	△ 251,558,758
(F) 追加信託差損益金	102,463,424	99,067,928	95,268,866	93,214,807	89,904,368	82,803,363
(配当等相当額)	(136,284,964)	(134,987,428)	(133,938,324)	(131,956,818)	(129,275,915)	(119,826,904)
(売買損益相当額)	(△ 33,821,540)	(△ 35,919,500)	(△ 38,669,458)	(△ 38,742,011)	(△ 39,371,547)	(△ 37,023,541)
(G) 計(D+E+F)	△ 38,753,005	△ 97,862,913	△ 164,557,572	△ 200,784,574	△ 175,309,858	△ 220,131,901
(H) 収益分配金	△ 7,248,618	△ 7,159,810	△ 7,084,718	△ 6,974,856	△ 6,827,894	△ 6,326,164
次期繰越損益金(G+H)	△ 46,001,623	△ 105,022,723	△ 171,642,290	△ 207,759,430	△ 182,137,752	△ 226,458,065
追加信託差損益金	102,463,424	99,067,928	95,268,866	93,214,807	89,904,368	82,803,363
(配当等相当額)	(136,293,384)	(135,051,647)	(133,986,368)	(131,965,168)	(129,298,273)	(119,834,667)
(売買損益相当額)	(△ 33,829,960)	(△ 35,983,719)	(△ 38,717,502)	(△ 38,750,361)	(△ 39,393,905)	(△ 37,031,304)
分配準備積立金	30,539,663	27,146,283	23,134,203	18,988,094	16,585,736	12,516,663
繰越損益金	△ 179,004,710	△ 231,236,934	△ 290,045,359	△ 319,962,331	△ 288,627,856	△ 321,778,091

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首(前作成期末)元本額 1,346,759,717円
 作成期中追加設定元本額 40,372,993円
 作成期中一部解約元本額 332,772,023円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7852円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は226,458,065円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2015年11月5日～ 2015年12月4日	2015年12月5日～ 2016年1月4日	2016年1月5日～ 2016年2月4日	2016年2月5日～ 2016年3月4日	2016年3月5日～ 2016年4月4日	2016年4月5日～ 2016年5月6日
費用控除後の配当等収益額	4,350,059円	4,504,467円	3,660,387円	3,235,630円	4,916,877円	3,505,910円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	136,293,384円	135,051,647円	133,986,368円	131,965,168円	129,298,273円	119,834,667円
分配準備積立金額	33,438,222円	29,801,626円	26,558,534円	22,727,320円	18,496,753円	15,336,917円
当ファンドの分配対象収益額	174,081,665円	169,357,740円	164,205,289円	157,928,118円	152,711,903円	138,677,494円
1万口当たり収益分配対象額	1,440円	1,419円	1,390円	1,358円	1,341円	1,315円
1万口当たり分配金額	60円	60円	60円	60円	60円	60円
収益分配金総額	7,248,618円	7,159,810円	7,084,718円	6,974,856円	6,827,894円	6,326,164円

④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期
1 万口当たり分配金 (税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%) の税率で源泉徴収 (申告不要) されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

メキシコ債券マザーファンド

《第6期》決算日2016年5月6日

[計算期間：2015年11月5日～2016年5月6日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月6日に第6期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I Lペンションズ・マネジメントに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
2期(2014年5月7日)	10,886	6.5	96.6	—	2,125
3期(2014年11月4日)	12,103	11.2	93.9	—	1,838
4期(2015年5月7日)	11,501	△ 5.0	94.4	—	2,162
5期(2015年11月4日)	11,307	△ 1.7	91.7	—	1,581
6期(2016年5月6日)	9,502	△16.0	93.1	—	972

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)		円		%			%
	2015年11月4日		11,307		—	91.7		—
	11月末		11,303	△	0.0	95.9		—
	12月末		10,692	△	5.4	91.9		—
	2016年1月末		10,182	△	9.9	91.3		—
	2月末		9,620	△	14.9	93.2		—
	3月末		10,237	△	9.5	94.1		—
	4月末		10,056	△	11.1	89.8		—
	(期 末)							
	2016年5月6日		9,502	△	16.0	93.1		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

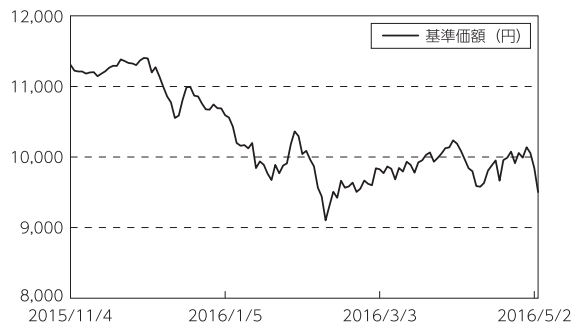
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ16.0%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・期首から2015年12月中旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国で利上げ観測が高まったこと（米国は12月中旬に政策金利の引き上げを実施）などが影響し、メキシコ金利は上昇（債券価格は下落）しました。
- ・12月中旬から2016年2月中旬にかけては、原油価格や世界株式市況が下落したことなどを背景に米国の追加利上げ観測が後退したことなどが影響し、メキシコ金利は低下しました。その後も期末にかけてメキシコ金利は低下基調を辿りました。
- ・期を通じて見ると、メキシコ金利は中長期ゾーンを中心に低下しました。

◎為替市況

- ・主に2015年12月中旬から2016年2月中旬にかけて原油価格や世界株式市況が下落したことなどを背景にリスク回避の動きが強まり、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。組入銘柄では、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味が小さくなったとの判断から、スペイン語圏で事業展開を行っている大手メディア関連企業の社債を全て売却しました。

◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、保有しているメキシコ国債が上昇したことなどはプラスに寄与したものの、メキシコペソが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・メキシコ政府が歳出削減などを通じて財政再建を積極的に進めていること、メキシコ中央銀行がインフレや自国通貨の安定化に配慮した政策運営を進めていることなどは、メキシコ債券および為替市場にとってポジティブな材料であると見ています。一方で、経済的な影響度の強い米国の金融政策の動向には引き続き注意が必要だと考えます。
- ・為替市況については、メキシコ政府がエネルギー分野などでの構造改革や財政健全化策を継続していることに加え、メキシコ中央銀行が利上げや為替介入などを通じて自国通貨を安定させる姿勢を示していることなどがメキシコペソの下支え材料になると考えます。

◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月5日～2016年5月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	5	0.046	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(5)	(0.046)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、10,348円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月5日～2016年5月6日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千メキシコペソ	千メキシコペソ
外 国	メキシコ	国債証券	—	41,016
		社債券	—	4,218

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月5日～2016年5月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 4	百万円 —	% —	百万円 403	百万円 29	% 7.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	972,135,850
コール・ローン等	45,081,079
公社債(評価額)	905,540,422
未収利息	21,514,349
(B) 負債	16
未払利息	11
その他未払費用	5
(C) 純資産総額(A-B)	972,135,834
元本	1,023,084,014
次期繰越損益金	△ 50,948,180
(D) 受益権総口数	1,023,084,014口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,502円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,398,623,309円
期中追加設定元本額 26,394,038円
期中一部解約元本額 401,933,333円
また、1口当たり純資産額は、期末0.9502円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	856,790,642円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	166,293,372円
合計	1,023,084,014円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は50,948,180円です。

○損益の状況 (2015年11月5日～2016年5月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	35,578,410
受取利息	35,578,956
支払利息	△ 546
(B) 有価証券売買損益	△244,881,578
売買益	8,001,606
売買損	△252,883,184
(C) 保管費用等	△ 554,771
(D) 当期損益金(A+B+C)	△209,857,939
(E) 前期繰越損益金	182,780,464
(F) 追加信託差損益金	△ 344,038
(G) 解約差損益金	△ 23,526,667
(H) 計(D+E+F+G)	△ 50,948,180
次期繰越損益金(H)	△ 50,948,180

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。